

第二浜田ダムだより ~第16号~



令和6年11月発行
浜田県土整備事務所

洪水期を終えました。

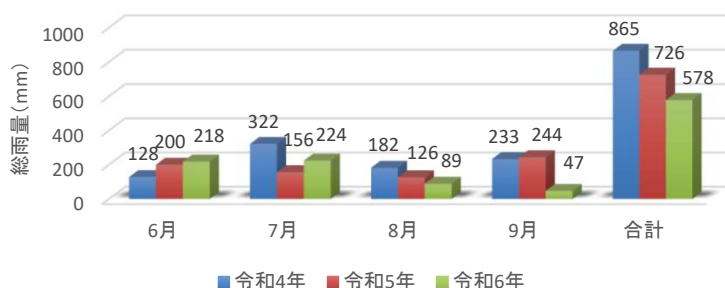
第二浜田ダムでは、**6月16日～9月30日**までを**洪水期**として管理しております。今年の洪水期を振り返ると、中国地方の梅雨入りが6月22日ごろと平年に比べ16日遅い状況となり、梅雨明けは7月21日ごろと平年に比べ2日遅い状況となりました。大雨・洪水警報発令時などは『**洪水警戒体制**』に入りますが、今年の梅雨期間中は、5回の体制入りとなり、昨年より多い状況となりました。8月からは台風10号の影響などにより、2回体制入りし、今年の洪水期では**計7回**の洪水警戒体制に入りました。

- ・8月30日から31日に島根県に上陸した、台風10号は、ダム流域平均累計雨量が70.8mmを観測しました。
- ・今年の洪水期の降水量は、令和4年以降、最も少ない値となり、9月の降水量は47mmを記録し、昨年の244mmを大きく下回りました。

今年の洪水期は、ダム本体や下流の河川で大きな被害が出ることはなく、洪水期を終えることが出来ました。10月からは非洪水期となり、大雨は一段落しそうですが、10月19日や11月2日に大雨警報が発令され、洪水期ではないですが、体制に入ることもありました。

今後いつどこで大雨が降るかは分かりません。「ダムがあるから大丈夫！」ではなく、日頃から防災意識を高めて生活しましょう。

洪水期の月降水量



今年の洪水期(6月～9月)の月降水量(ダム流域平均雨量)を、過去2年のデータと比較しました。

※裏に続きます。

ダム役割について

ダムの役割は主に、「治水」と「利水」の2つに分類されますが第二浜田ダムの役割について紹介します。

「治水」は、大雨が降った際にダムに水をためて川の水量を調節することを指します。

「利水」は、雨が降らない日が続いた時に川の水量が減少した場合、生き物や田畑のためにダムから水を供給し、川が枯れないように調節することです。

また、利水を活用して行う「発電」は、高い所から低い所へと水を流し、その勢いで大きな水車を回して水力発電をします。この「水力発電」は別名「再生可能エネルギー」とも呼ばれ、ダムから流れ出た水は川を経て海に流れ、やがて蒸発して再び雲や雨となり、ダムへと戻ってきます。したがって、地球に優しいクリーンなエネルギーになります。

今回は、ダムの役割についてお話ししました。気になった方は、ぜひ現地を見に来てください！

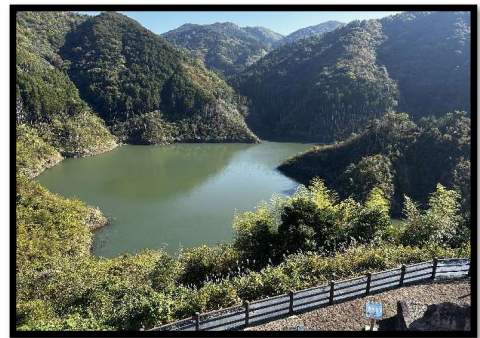
ダムの点検について

第二浜田ダムでは、施設や機器等に異常がないか確認するために毎月点検を行っています。

今回は、その中で貯水池の点検についてお話しします。

第二浜田ダムの貯水池は「いわみおろち湖」と呼ばれており、そこにボートを出して巡視による点検を行っています。

点検内容は、ダム湖周辺の斜面が崩壊していないか、漂流物やごみ等の不法投棄がないかなどをチェックしています。



ダム湖の湖面上からの写真

第二浜田ダム管理所からのダム湖の写真

ダムカードは無料じゃ！！



第二浜田ダムに関するご意見、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

島根県浜田県土整備事務所

●ダム管理第二課

〒697-0041

島根県浜田市片庭町254

TEL: 0855-29-5769

●第二浜田ダム管理所

〒697-0012

島根県浜田市河内町1952-2

TEL: 0855-22-3051